

# HEART to HEART



令和4年12月23日(金)発行

今年も残すところ1週間あまりとなりました。冬休みの予定は決まっていますか。

今回は、12月下旬に行われた授業で、外国語やことば、コミュニケーションについて学ぶ児童の姿を紹介します。

## 4年 きよきたふれあい楽習

12月15日に、きよきたふれあい楽習で百人一首に親しみました。

最初に、百人一首がなぜ宇都宮とゆかりが深いのか知りました。宇都宮城主が、京都の歌人と仲良くなったからこそ百人一首が生まれたことを知り、クラス全員が驚きの声をあげていました。坊主めくりでは、「姫、が出ますように」と願いを込め、ドキドキしながら札をめくる姿が見られました。散らし取りでは、語呂合わせや決まり字を覚え、札の枚数を徐々に増やしながらか遊びました。語呂合わせをたくさん覚えてもう一度挑戦したいと、子供たちからたくさんの声があがりました。



## アナウンサーから学ぼう (5, 6年会話科「ことばの時間」)

12月16日に、宇都宮アナウンスアカデミーの小田島建夫先生に、会話科「ことばの時間」の授業を行っていただきました。3時間目に「5年生が校内放送の上手な原稿の読み方」、6年生が4時間目に「話し方や聞き方、インタビューの仕方」について教えていただきました。



5年生は、まず、将来の夢について小田島先生との会話を楽しんだあと、自分で考えた放送原稿を一人一人読みました。マイクを前に緊張する様子も見られましたが、堂々とはっきりとした声で原稿を読む様子に、小田島先生から「アナウンサーにならないか。」と声をかけられる一幕も。お褒めの言葉をたくさんいただいた5年生ですが、さらに上手に放送するには、聞き手の反応をイメージした間を取ることや、特に重要な部分がどこかを意識することができる読解力など、5つのポイントを教えていただきました。

6年生は、生活や授業の中で、話す時に困っていることを挙げ、そこから何が重要なのかを考えました。そして、声の出し方や滑舌など相手にしっかりと自分の意見を伝えることの大切さを教えていただきました。また、児童から「話す時の順序が難しく、相手に伝わりにくくなってしまう」という悩みを聞くと、「5W1H」を基本に話すと良いことや、この基本は書く時にもつながるということを教えていただきました。最後に、インタビューをするときは、声の出し方や滑舌はもちろん、聞きたいことを明確にイメージしてから話を始めるとよいことをアドバイスいただきました。



「警察官は血だらけになって逃げていく泥棒を追った。」この文には間の取り方によって、全く状況の異なる二つの解釈が存在するそうです。ことばのプロである小田島先生から間の取り方が大切であることがよく分かる説明をしていただき、これからの活動に生かしていこうと考える児童がたくさんいました。家庭学習での音読でも、間の取り方に気を付けることを意識させてみてはいかがでしょうか。

## What's this? (3年生外国語活動研究授業)

12月21日に3年生の外国語活動の研究授業を行いました。  
何かわからないものに対して、「What's this?」と尋ねたり、「It's ~」と答えたりすることについて学ぶ単元の学習です。

クリスマス間近ということで、元気よく「Jingle Bells」を歌い、外国語活動の授業のスタートです。AETのエミリー先生が見せてくれた写真に「What's this?」の表情の3年生。それは、鳥が羽を広げた形に似ているランの花の写真でした。ジェスチャーゲームや隠れている絵を当てる活動などを通して、「これ、何だろう?」と考えながら、たくさんの「What's this?」を聞いた1時間になりました。

この単元の最後は、みんなでクイズ大会をするそうです。楽しみながら、外国語に触れられそうですね。



## Let's try!

### 〈冬休みに百人一首はいかが?〉

いよいよ冬休みがスタートします。今年はクリスマス前から冬休みに入ることもあり、長めの休みです。いつもより時間のある冬休みに、家族で風揚げやカルタなど、お正月遊びをするのもいいですね。

2年生、4年生の「きよきたふれあい楽習」では、カルタの一種である「百人一首」を学びました。その名の通り、100首の和歌を集めた百人一首ですので、札が100枚あります。5・7・5の上の句を読まれる間に7・7の下の方の書かれた札を取り合う遊び方はまだ難しくても、絵札(読み札)で坊主めぐりという遊びでしたら、初心者でも楽しめます。

### ～坊主めくりの基本ルール～

- ①100枚の絵札(読み札)をよく混ぜて束にし、遊ぶ人の中央に裏返しておく。
- ②一人ずつ一番上の札を1枚取る。  
男の人の絵札・・・手持ちの札に入れる。  
坊主の絵札・・・手持ちの札をすべて捨て、中央の札の近くに置く。  
女の人の絵札・・・捨てられた札があれば自分の手持ちの札に入れる。
- ③中央の札がすべて無くなったときに一番たくさん札を持っている人が勝ち。

①



②男の人の絵札



坊主の絵札

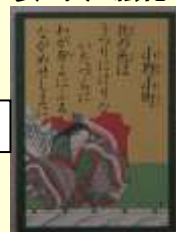


捨てる



もらう

女の人の絵札



家族や親せきと一緒に、宇都宮ゆかりの「百人一首」に親しんでみてはいかがでしょうか。